

「キャリア形成支援セミナー・女性リーダー育成セミナー」〈報告〉

「キャリア形成支援セミナー・女性リーダー育成セミナー」ZOOM同時配信（会場視聴あり）

日 時：2020年9月17日（木）14：00～15：30

会 場：香川大学幸町南キャンパス 総合教育棟（DRI棟）1階 第11講義室

講 師：東海国立大学機構 名古屋大学 男女共同参画センター長・生命農学研究科教授 東村 博子 氏

参加人数：110名（内会場：39名参加）

9月17日（木）に、香川大学幸町南キャンパス 総合教育棟（DRI棟）1階 第11講義室）において、「キャリア形成支援セミナー・女性リーダー育成セミナー」をZOOM同時配信（会場視聴あり）で開催しました。

本セミナーは、徳島大学を代表機関とする令和2年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」において女性研究者の上位職への登用に向けた取り組みに基づいて実施される事業として開催したものです。

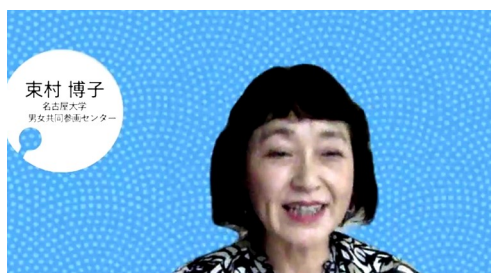
会場視聴の参加者に加え、学内外からのZOOM配信での参加も多く、合計110名の参加がありました。講師の東海国立大学機構 名古屋大学 男女共同参画センター長 東村先生から初めに、日本における女性活躍の状況、女性労働力率の国際比較、日本における女性研究者の状況などのお話があり、次に生物学的観点から見る男女のなりたち、男女差についてなど、大変興味深いお話をして頂きました。組織の活性化戦略としての男女共同参画については、大学・組織・社会の活性化に多様性が必須である、価値観の多様性は男女に関わりなく、頑張りたい時にがんばり、そうでないときは頑張らなくてもいい社会をつくる、自己実現とやる気が組織・社会を活性化する、など、教職員にとって大変有意義なお話をしていただきました。また、名古屋大学は、全国の大学の中でも非常に早くから女性の活躍を大学の活性化につなげる取り組みを実施されており、国内外での様々な活動の拠点としての多様な活動実績をご紹介いただきました。

アンケートでは、「非常に参考になった」51%、「参考になった」49%という結果でした。

参加者からは「日本における女性活躍の最新の現状を知ることができて良かった」「生物学の観点から男女差を考察していくことは今まであまりなかったので、とても興味深かったです」「多様性が組織を活性化することによって納得できた」といった声が多く寄せられ、大変有意義なセミナーとなりました。

以下、セミナーについての参加者からの感想（一部抜粋）

- 「自己実現とやる気が組織・社会を活性化する」というのは、まさにそうだと思います。
- ジェンダーについて潜在的な概念がまだまだ存在することに気づかされました。
- 大学での男女共同参画は、トップダウンで進める必要があるということ
- 働き方に対する考え方を柔軟に見直す必要性を強く感じた。
- 何を目指せばよいのかが具体的になった。
- 男女共同参画は、単なる女性の問題だけでなく、男性の働き方や幸福度にも繋がるということが、非常に印象に残り、男性職員として、意識を変えるきっかけになりました。



▲セミナー時（会場視聴）の様子 香川大学幸町南キャンパス 総合教育棟（DRI棟）1階 第11講義室